

## <対策のポイント>

肉用牛・酪農の生産基盤強化のため畜産クラスター計画を策定した地域において、**飼料作物の単位面積当たりの収量の増加、生産コストの削減に資する、草地の大区画化等のハード整備を実施**します。

## <政策目標>

飼料作物の単位面積当たりの収量が25%以上増加すること

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 大型機械化体系に対応した草地整備

大型機械による効率的な飼料生産を一層推進するため、草地・畑の一体的整備、草地の大区画化、排水不良の改善等を推進

主な工種：区画整理、暗渠排水 等

### 2. 家畜糞尿を活用した肥培かんがい施設の整備

家畜ふん尿を発酵スラリーとして有効活用するための肥培かんがい施設等の整備を推進

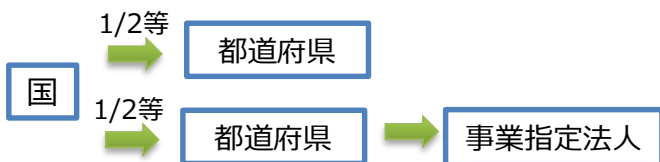
主な工種：肥培かんがい施設、排水施設 等

### 3. 泥炭地帯における草地の排水不良の改善

土壌の特殊性に起因する地盤の沈下による草地の湛水被害等に対処する整備を推進

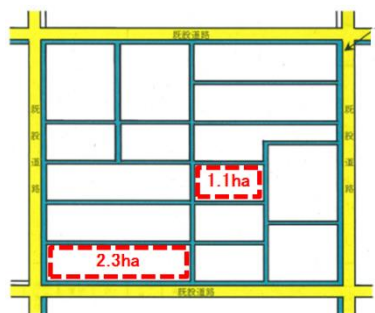
主な工種：整地、暗渠排水、排水施設 等

## <事業の流れ>



※事業実施主体が国の場合は、国費率2/3等

### <整備前>



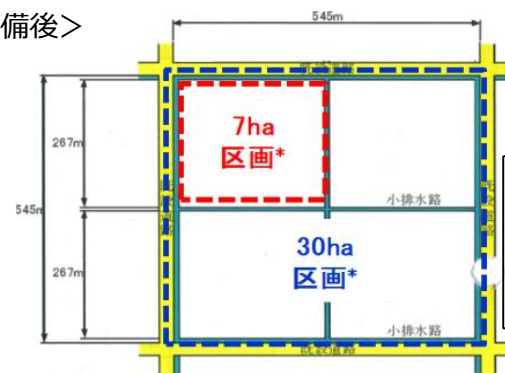
現況の自然水路に合わせて整備



作業幅：3.2m

個人所有の農業機械による作業

### <整備後>



大区画による効率的な飼料生産

※小排水路が不要な地区は30ha区画、小排水路が必要な地区は7ha程度の区画



急傾斜地

山成に合わせて整備



作業幅：9.7m

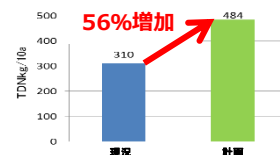
大型作業機械による作業



急傾斜地→緩傾斜地

生産性向上のため、緩傾斜に整地

### 飼料作物の単位面積当たり収量



※対策地区（77地区）における目標値（計画値）の平均値

\* TDNとは、飼料作物中の可消化養分のことをい、TDNkg/10a は栄養価ベースの収量を指す

## 【お問い合わせ先】

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| (1の事業) 生産局飼料課    | (03-6744-2399) |
| 農村振興局農地資源課       | (03-6744-2207) |
| (2の事業) 農村振興局水資源課 | (03-3502-6244) |
| (3の事業) 農村振興局防災課  | (03-3502-6430) |